

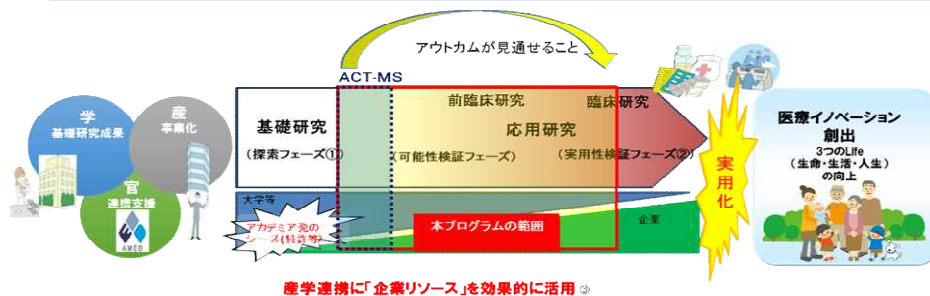
# 産学連携医療イノベーション創出プログラム (ACT-M/ACT-MS)



## 事業概要

- 本プログラムは、大学等と企業や病院等との連携を構築しアカデミア発の「技術シーズ」を産業界(企業)に円滑かつ効果的に移転する(実用化プロセスに乗せる)ための、産学連携による研究開発を「提案公募方式」によって支援する制度です。
- そのうち、セットアップスキーム(ACT-MS)は、特に、大学等が有する「早期段階の挑戦的な技術シーズ」を医療への適用を目指す企業に戦略的に受け渡すことを目的とし、当該技術シーズに関する課題等を明確化してそれを解消するための研究開発を重点的に支援します。
- これらにより、医療イノベーションを実現し、AMEDが目指す3つのLIFE(生命・生活・人生)の向上を目指します。

産学連携により医療分野における技術課題を解決



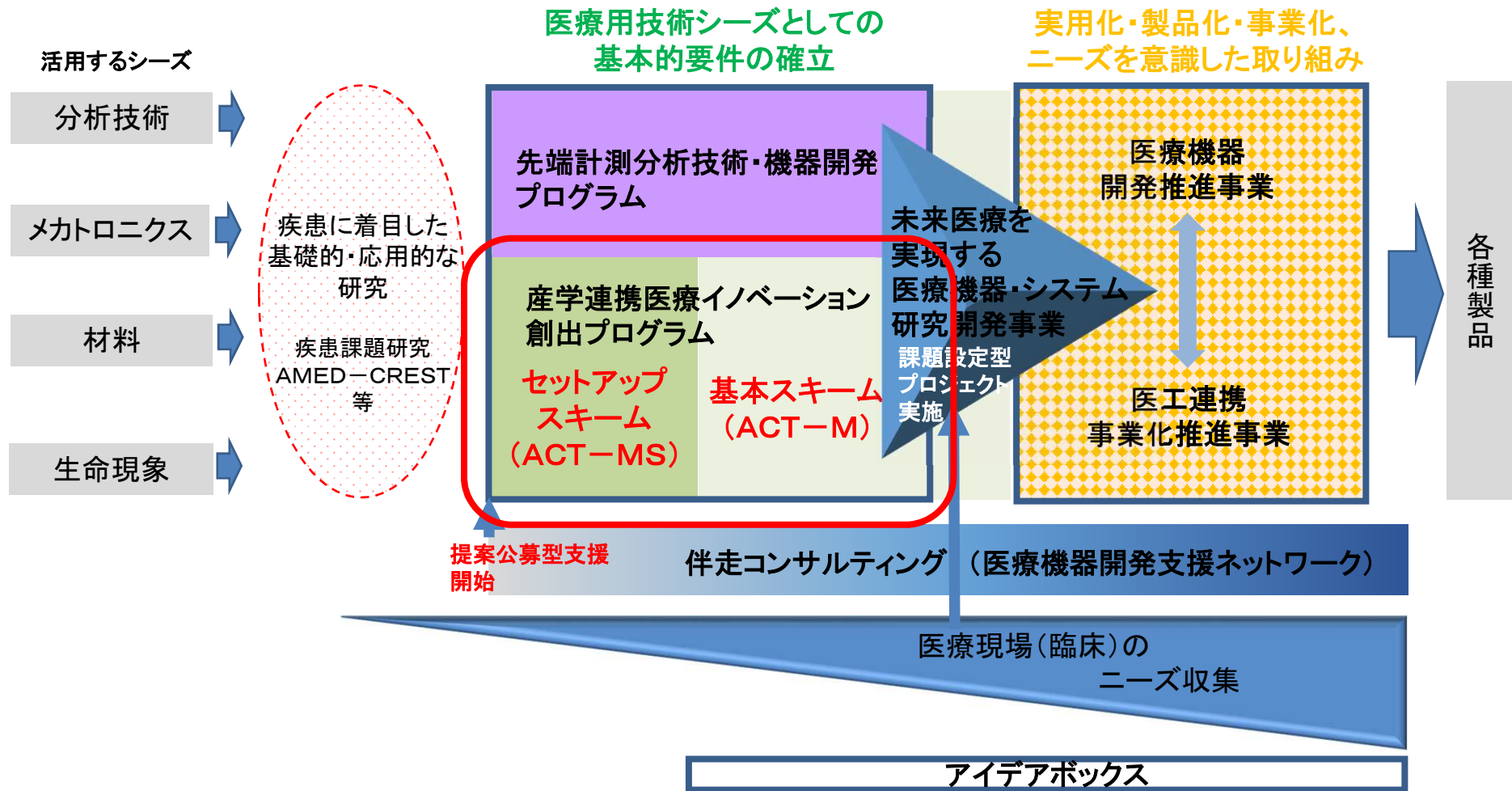
産学連携に「企業リソース」を効果的に活用③

- ①…探索フェーズのみ実施する研究は対象外。
- ②…治療のみ実施する研究は対象外。
- ③…大学等と企業の分担割合はACT-MとACT-MSで異なる。

Copyright 2018 Japan Agency for Medical Research and Development

|                                     | ACT-MS   | ACT-M   |
|-------------------------------------|--|---|
| 開発推進体制                              | PS: 千葉 勉 (関西電力病院 病院長、京都大学 名誉教授、神戸大学 客員教授)  | 創業分野PO: 谷田 清一 (公益財団法人 京都高度技術研究所 地域産業活性本部京都市ライフイノベーション創出支援センター アドバイザー)                             |
| プログラムスーパーバイザー(PS)<br>プログラムオフィサー(PO) | 医療技術分野PO: 山本 一彦 (理化学研究所総合生命医科学研究センター 副センター長)   |   |
| 開発期間                                | 2年以内   | 3年以内  |
| 開発目標                                | 「早期段階の挑戦的な技術シーズ」について、医療への適用のためのブレークスルーポイントを突破する。                                     | 「探索段階を終えた技術シーズ」について、実用化(事業化)のための課題を具体的に解消する。  |
| 開発内容                                | 大学等が保有する挑戦的な技術シーズについて、産学が連携して医療への適用可能性を見極めるための課題を明確化し、大学等がその解決のための技術を確立するための研究を実施する。 | 企業が実用化を目指す技術シーズについて、ヒトを対象とするPOCの確立を目標とし、産学が役割分担(連携)して研究開発を実施する。(「可能性・再現性の検証」、臨床上的の評価につなぐ「実用性の実証」) |
| チーム構成                               | 技術シーズを有する大学等と、その利用を希望する企業または起業家による「共同提案」   | 技術シーズを有する大学等と、その実用化を目指す企業による「共同提案」  |
| 開発費の目安(間接費込み)                       | 上限 2,000万円/年   | 上限 5,000万円/年  |

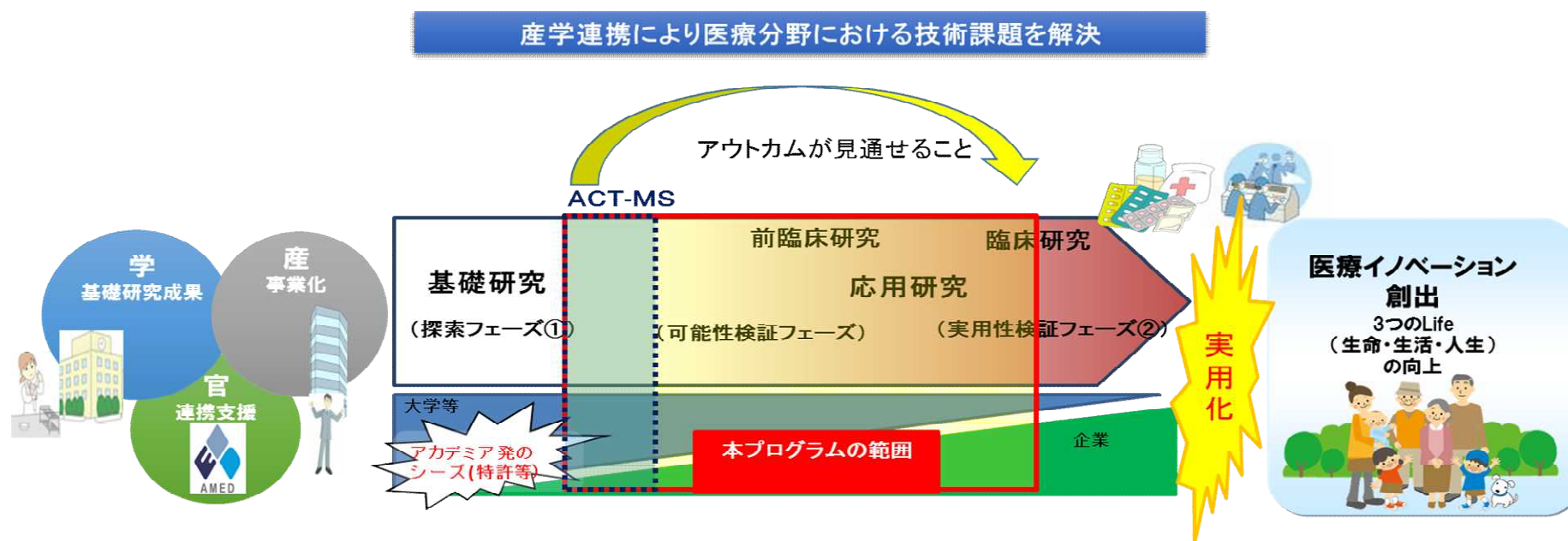
# 産学連携型研究開発支援のフローチャート



## 本プログラムの概要

■ 本プログラムは、大学等と企業や病院等との連携を構築しアカデミア発の「技術シーズ」を産業界（企業）に円滑かつ効果的に移転する（実用化プロセスに乗せる）ための、**産学連携による研究開発を「提案公募方式」によって支援する制度**です。

このうち、セットアップスキーム（ACT-MS）は、特に、大学等有する「早期段階の挑戦的な技術シーズ」を医療への適用を目指す企業に戦略的に受け渡すことを目的とし、当該技術シーズに関する課題等を明確化してそれを解消するための研究開発を重点的に支援する制度です。



産学連携に「企業リソース」を効果的に活用<sup>③</sup>

- ①・・・探索フェーズのみ実施する研究は対象外。
- ②・・・治験のみ実施する研究は対象外。
- ③・・・大学等と企業の分担割合はACT-MとACT-MSで異なる。

## プログラムの構成

本プログラムでは以下の2つの研究開発テーマを設定します。

| テーマ名  | 概要  |
|---|---|
| 【テーマ1】<br>オープンイノベーションによる<br>革新的な新薬の研究開発           | オープンイノベーションによって、この国の薬づくりのすそ野を広げることによる革新的な新薬の創出を目的とする。<br>たとえば、アカデミア等で顕在化した、薬の「芽」を企業等における効果的・効率的な育成を目指す研究開発や、薬づくりを支える新しい周辺技術の企業等への移転を目指した研究開発等を募集する。 |
| 【テーマ2】<br>急激な少子高齢化社会を支える<br>革新的医療技術・医療機器<br>の研究開発 | 科学的根拠に基づく近未来の環境、動向に合致した革新的な医療技術等の創出を目的とする。<br>疾患を包括的に考え、対応すべき重要な疾患について、新たな知見に基づいたアカデミア等の「シーズ」を企業との共同研究開発することにより革新的な医療技術・医療機器の創出を行うための研究開発等を募集する。    |

# ACT-M/MS 平成31年度公募について(案)



- 現在、AMED では、平成31年度公募について見直しを検討しております。
- 現時点の検討状況であるため、**今後以下の方針は変更される可能性があります。**
- 公募予告は一月前には、AMED のウェブサイトに掲載しますので、**最新の情報は AMED の HP ( URL ) をご覧ください。**

## 平成31年度公募についての検討状況

- ① 平成31年度公募は、30年度公募に比べて、**より早い時期に公募を開始する可能性があります。**
- ② 一次公募(ACT-Mのみ)、二次公募(ACT-M/MSの両スキーム)、等と**二段階公募することも検討**しております。  
なお、その場合は、**両公募間で公募条件が異なる可能性**もあります。
- ③ **公募条件等も一部見直しを図る可能性**があります。

※ 予算成立の状況等により、公募の時期・回数、研究開発費の規模及び新規採択課題数等は変動することがあります。また、公募開始後でも、全部又は一部の公募課題について提案の受付や課題の採択を取りやめる可能性があります。

📖 **最新の情報は AMED の HP ( <https://www.amed.go.jp/index.html> ) で確認いただくとともに、是非、「**AMEDメール配信サービス**」( <https://www.amed.go.jp/pr/mailmagazine.html> ) にも登録ください。**